

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		稲荷山医療福祉センター ほっぷ		公表日		R7年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
	1 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	①リハビリスタッフと同行して、訪問先との調整等するスタッフが不足している。	①訪問を経験していないリハビリスタッフもあり、ミーティングを仕切ったり、関係者の気持ちを聞き取ることに慣れていない。そのため、調整役のスタッフは必要。今後調整役のスタッフを増やすこと、慣れていないリハビリスタッフについては1人で訪問する等改善が必要である。		
業務改善	2 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	①まだ事業所開設して1年がたっていない。今後、業務改善を進めるための振り返りを実施する予定。	①評価表がまとまった後、振り返りの話し合いを実施し課題解決に努めたい。		
	3 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	①まだ事業所開設して1年がたっていない。今後、業務改善を進めるための振り返りを実施する予定。	①評価表がまとまった後、振り返りの話し合いを実施し課題解決に努めたい。		
	4 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		①まだ事業所開設して1年がたっていない。今後、業務改善を進めるための振り返りを実施する予定。	①評価表がまとまった後、振り返りの話し合いを実施し課題解決に努めたい。		
	5 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	・今のところ実施の予定はない。			
	6 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		①今年度は保育所を巡回している外部講師を招いて研修を実施した。	①来年度以降も外部講師を招いての研修を計画したい。		
	7 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	7		①訪問先に向いてアセスメントを実施し、集団での困り感や支援者の見立てを確認している。その上で計画を作成している。	①今後も訪問先と丁寧にやり取りし、アセスメントに努めたい。		
適切な支援の提供	8 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		①計画書を作成後、関係するリハスタッフとミーティングを設け、子どもの状況等共有する中で計画案が適切か話し合っている。	①スタッフの時間が合わず対面実施が難しいと感じることも多いが、対面の方が状況確認が確実に行えるため、引き続き実施したい。短時間で済ませよう事前に計画案を配る等の工夫をしたい。		
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	7		①アセスメントのため訪問先に出向き、訪問先の担当者の意向も聞き取るようにしている。	①訪問先の担当者の意向が、十分に計画に盛り込まれていないこともあると思われる。計画作成時には今以上に意識して作成したい。		
	10 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		①支援計画は関係する職員に配布している。計画を通じて支援目標を確認している。			
	11 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1				
	12 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	7					
	13 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	14 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		①訪問する前の時間で、前回提案したこと、本日確認することなど再確認し訪問している。			
	15 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		①支援終了後、その日の振り返りを行い、気が付いた点等記録にも残すようにしている。	①記録の共有方法に課題が残るため、今後検討していく。		
	16 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	7		①訪問先での支援の仕方や困り感などをリサーチして助言を行っている。現場で実現可能な助言になっているか確認しながら助言している。	①リハという個別の場面と、集団の場面の違いを理解しながら、集団に適した助言になるよう努めたい。		
	17 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	7		①リハビリスタッフ、MSW共に訪問結果については記録に残している。			
	18 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7					

関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		①教育分野にも年度初めの集まりで保育所等訪問支援について説明しているが、十分浸透しているとは言い難い。	①来年度は校長会、園長会、特別支援コーディネーターの会議等に積極的に参加し、保育所等訪問支援事業に対する理解を促したい。
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		①年長児の移行支援会議に参加を希望し、今までの支援について学校と情報共有を図る予定である。	①移行支援会議を担っている教育相談室等に相談し、必要な移行支援会議に参加できるよう今後も手配していく。
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	1	①外部講師を招いての研修を実施した他、センター全体で各部門ごとに研修に参加している。	①研修が十分ではないと感じている職員もいるので、保育所等訪問に必要な知識を得られるような研修の場を模索していきたい。
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	2	①医療相談室が地域のこども部会や医療的ケア児検討委員会に参加している。	①訪問のみを実施しているスタッフに地域のこども部会の様子や医療的ケア児検討委員会の様子が周知されていない。全体回覧で周知する方法について検討したい。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
保護者等への説明等	25	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	①パンフレットや重要事項説明書にて説明している。	①訪問のみを実施しているスタッフに利用までの流れが周知されていないことが「いいえ」にチェックがついてしまった理由か。流れについて再度確認したい。
	26	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6	1		①訪問のみを実施しているスタッフは自らが行っていないという理由で「いいえ」にチェックを入れたと思われる。利用までの流れを再度確認したい。
	27	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		①ニーズ、願い、思いの確認を丁寧に聞き取っている。 ②集団の場を邪魔しない支援にも配慮している。	①②引き続き丁寧な面接、集団への配慮を忘れないよう年度初めに確認をする等工夫したい。
	28	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6	1		①訪問のみを実施しているスタッフは自らが行っていないという理由で「いいえ」にチェックを入れたと思われる。利用までの流れを再度確認したい。
	29	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7		①リハビリや診察場面、モニタリング等の機会に保護者からの相談に応じている。	
	30	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	①保護者が連絡しやすいようメール等でもやり取りし、相談や申し入れを聞くようにしている。学校で心配な状況があると云われ、訪問日を早める対応をした。	①引き続き保護者が連絡しやすい方法を提示し、いつでも相談できる体制を維持していく。相談のあった状況は関係スタッフで相談し、迅速に対応できるようにしていく。
	31	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	3	①現在、活動概要や連絡体制等の情報を保護者等に発信できていない。	①センターのホームページの見直しをしており、その中で情報発信ができるよう検討していく。
	32	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
訪問先施設への説明等	33	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	34	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	7		①医療相談室が窓口になり対応している。	
	35	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	7			
	36	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	7		①保護者の要望に応じて、リハビリでの報告、メールや電話、報告書での報告の中から希望の方法で実施している。	
	37	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
38	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	7		①リハビリスタッフが専門知識をもって助言をしている。		
39	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	4	①事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル⇒たんぽぽと共有、防犯マニュアル、災害時対応マニュアル⇒センター共通。必要事項については、保護者には重要事項説明書にて説明	①スタッフがどのマニュアルが該当するか理解していない状況なので、年度初めに周知をする。	

非常時等の対応	40	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	3	①安全計画を年度初めに計画し、それに従って実施している。	①センター全体の研修がこれに該当するが、職員への周知が十分ではないことがわかったので年度初めに周知する等工夫したい。
	41	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	3	①医療安全委員会で起こってしまったヒヤリハットを共有し、適切な対応を確認している。	①センター全体の研修がこれに該当するが、職員への周知が十分ではないことがわかったので年度初めに周知する等工夫したい。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	①年に1回虐待防止研修を実施している。(センター共通)	①センター全体の研修がこれに該当するが、職員への周知が十分ではないことがわかったので年度初めに周知する等工夫したい。
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	①センター全体で身体拘束の手順を決めている。保育所等訪問支援で身体拘束をすることは想定していないが、必要時はセンターの手順に従う。	①センター全体の研修がこれに該当するが、職員への周知が十分ではないことがわかったので年度初めに周知する等工夫したい。